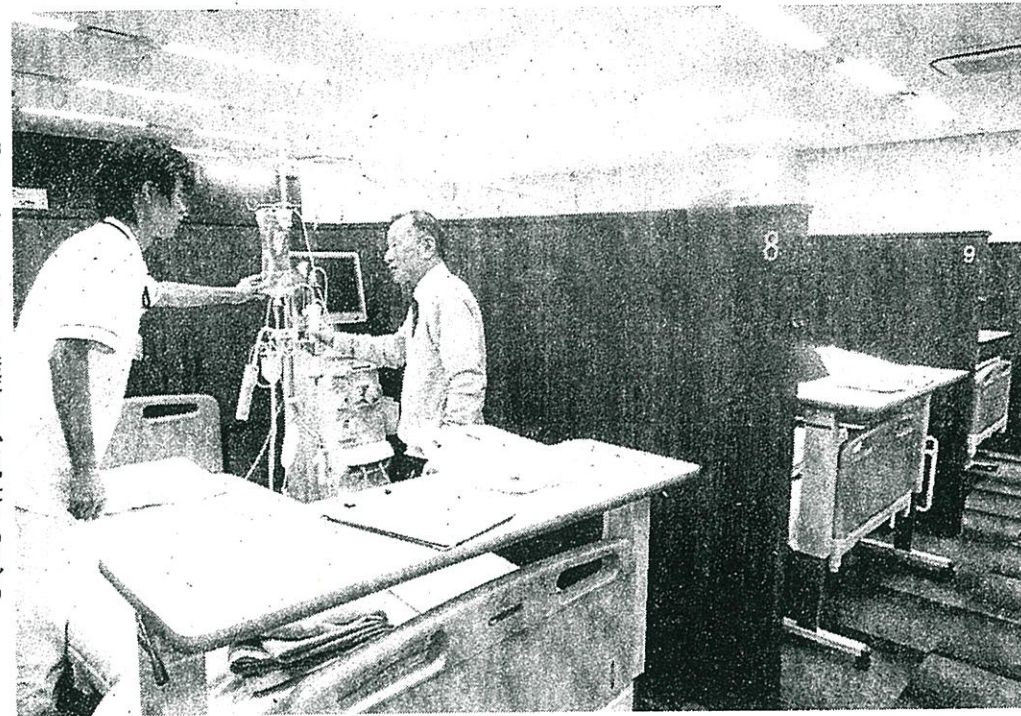


（オーバーナイト透析開設

天神オフィス街 仕事終わりにや家族団らん後に



「オーバーナイト透析」が受けられる
天神のクリニック

人工透析を夜、寝ている間に受けられる「オーバーナイト透析」を実施するクリニックが中央区天神に今月、本格的にオープンした。県腎臓病患者連絡協議会によると、県内では北九州市のクリニックに次いで2例目。仕事や家族との夕食を済ませてから透析を受けられ、朝はそのまま仕事に出かけられるとあって、仕事を持つ患者たちに喜ばれている。

寝ている間 長時間かけて

腎臓は機能が低下すると、体内の老廃物や毒素を尿として排出できなくなり、重症化すると死の危険に直面する。人工透析はこれを防ぐため、腎臓に代わって血液中の老廃物や余分な水分を取り除く治療だ。だが、人工透析は1日に最低でも4、5時間

間かかり、週3回受ける必要がある。そのうちのうちには遅くとも午後5時ごろまでに来院しなければならぬため、定時まで仕事ができないなど仕事や生活の支障になっている人が少なくない。

は個室を含め計24床。前田医師によると、人工透析は1回4時間台が一般的だが、6時間以上かける長時間透析によって心血管疾患

クリニック「天神オーバーナイト透析&内科」は佐賀県伊万里市で病院を経営する前田利朗医師(70)が、こうした患者たちを後押ししようと天神のオフィス街に開業した。日中は内科クリニックとして診療、オーバーナイト透析は毎週月・水・金の各曜日に実施する。午後10時半までに来院すれば、翌朝午前6、7時まで8時間の透析を受けられる。ヘッド

・83373。



新毎日新聞

1月26日(木)

2017年(平成29年)

発行所：北九州市小倉北区紺屋町13-1

〒802-8651 電話(093)541-3131

毎日新聞 西部本社

福岡市中央区天神1 毎日福岡会館 〒810-8551

編集3100 事業3636
電話(092)781- 販売3221 広告3300

毎日新聞 福岡本部